

平成 24 年度第 2 回奈良県がん予防対策推進委員会（受診率向上部会）

議 事 要 旨

日時：平成 24 年 10 月 26 日（金）

午後 2 時～4 時

場所：奈良県桜井総合庁舎 3 階 大会議室

出席者：

（委員）今田順子、大石元（議長）、下谷訓子、堀川巳清、松田武彦、森高香代、吉岡敏子

がん患者・家族の会から 2 名の委員が追加された（吉岡敏子・浦嶋偉晃）。

欠席者（松山神恵、浦嶋偉晃）

（事務局）松山仁志、橋本安弘、大原賢了、他

概要：

- ・ 第 1 回目委員会の議事要旨と質疑事項について事務局から説明。
- ・ 議題として（1）がん検診受診率（23 年度速報値）について、（2）がん検診知事表彰受賞市町村について、（3）「がん検診を受けよう！」奈良県民大会についての報告、（4）がん検診受診率目標値の設定及び受診率向上に向けた取り組みが審議された。

（1）＜議題 1＞がん検診受診率（23 年度速報値）について

- ・ 速報値とは、平成 24 年 6 月時点での各市町村から報告された受診率。確定値は 12 月に報告される。

速報値によると全体的に大腸がんの受診率が増加。

安堵町は、全てのがん検診受診率が前年度より増加。

全てのがん検診受診率において、村が上位を占めているが、乳がん、子宮がんについては、斑鳩町がそれぞれ第 3 位と第 2 位、子宮がんで奈良市が第 4 位に位置している。

（2）＜議題 2＞がん検診知事表彰受賞市町村について

- ・ 橿原市と下北山村が知事表彰を受賞。
- ・ 橿原市は、検診対象者全員への個別受診勧奨の実施や、肺がん検診の個別検診を取り入れ受診機会を増やす努力が、下北山村は、検診を土日や早朝から実施して働き盛り世代への受診率向上への工夫、検診受診や各種教室への参加者が健康グッズと交換できる「しもきた健康スタンプラリー」の創設などの工夫が評価され受賞となった。

（3）＜議題 3＞「がん検診を受けよう！」奈良県民大会について

- ・ 10 月 10 日「がん検診を受けよう！」県民大会が盛大に開催された。

- ①近鉄奈良駅前行基広場で街頭キャンペーンを開催、2000 個の啓発グッズを配布。
- ②「がん検診を受けよう！奈良県民会議設立総会では、約 700 名が参加。
会員代表者が壇上で知事と共にキックオフ宣言、その後がん検診に関する知事表彰が行われた。
- ③ロビー展示では、会員団体の協力を得て、がんに関する様々な展示を併設した。
- ④「がん検診を受けよう！奈良県民会議設立総会記念フォーラムでは、土屋了輔先生、杉山愛さんによるトークが行われた。

報告に続き、各委員から

- ・このような大会を繰り返し行っていくことが啓蒙活動として有用である。
- ・母の日キャンペーンでも、21 年前より毎年「乳がん検診、マンモグラフィーを受けよう」という啓蒙活動をしているがやっと成果が現れつつある(あけぼの奈良)。
- ・今後もがん検診に役にたつようなフォーラムを奈良県主導の下に企画、実施できればいい。などの感想が述べられた。

(4) <議題 4 >がん検診受診率目標値の設定及び受診率向上に向けた取り組みについて

奈良県のがん死亡・がん検診の現状が事務局から報告され、課題などを再確認、意見交換がなされた。

○新しい「奈良県がん対策推進計画」(案)に取り上げられる今後の取り組みについて；がん検診受診率の目標値を 50%と設定、知識普及と意識啓蒙およびがん検診受診の促進についての新しい項目が設定された(資料5)。

○がん検診受診率の目標値を 50%と設定した理由；今後、受診率は 40~69 歳で算定されることとなった(受診率が上昇する)、受診率 50%ではじめて死亡率減少効果がみられる(国立がんセンター)などによる。

○新規に取り上げた項目に

- ・「がん教育」のあり方を検討・効果的な啓発材料についての検討
- ・「親子でがんを考える」普及啓発についての検討
- ・主治医からの受診勧奨についての検討
- ・がん検診受診率向上市町村個別指導事業の実施(コール・リコール実施に向けての支援)

が採用された。特にがん教育については、医師会、教育委員会、県議会の協力が必要であり、また、主治医からの受診勧奨についても医師会の指導的啓蒙が不可欠といえる。これらの項目について本委員会は有識者の意見を踏まえて具体的な取り組みを検討することが決定された。なお、「奈良県がん対策推進計画」(案)の継続各項目についても、前向きな意見交換がなされた。

- ・本委員会で採択された取り組みの案を、来る 11 月 21 日開催される「奈良県がん対策推進協議会」で報告する。